

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術・非治癒切除例の再発・予後に関する検討.

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院 光学医療診療部

【研究責任者】 山本 安則（光学医療診療部 特任講師）

【研究の目的】

早期胃癌に対し内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）は低侵襲治療として広く普及しています。胃癌ガイドラインでは、非治癒切除の場合は追加外科切除が推奨されていますが、非治癒切除であっても高齢者や合併症の多い患者に対しては手術を選択しない場合も多くみられます。その場合の再発、生命予後については明らかではありません。よって、早期胃癌 ESD 非治癒切除・追加手術なし症例の再発リスク因子、生命および栄養学的予後を明らかにするために調査を行います。

【研究の方法】

本研究は、2008年1月1日から2018年12月31日まで調査期間中に早期胃癌に対しESDを受けられた患者さんを対象とします。胃癌ガイドラインで非治癒切除となった症例の再発の有無や再発様式、リスク因子の解析を行います。また生命予後、栄養状態についてもカルテデータを用い集計します。なお、データについては解析の上公表いたしますが、個々人の情報別に示されることはありません。

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは、匿名化されて、パスワードをつけたファイルを送ることによって愛媛大学医学部附属病院へ送られ、解析します。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<資料・情報の管理責任者>

愛媛大学医学部附属病院 光学医療診療部 山本 安則

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、**【お問い合わせ先】**までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院 光学医療診療部 山本 安則

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-964-5308